偉人列伝　　3年[　]組[　]番　名前[　　]

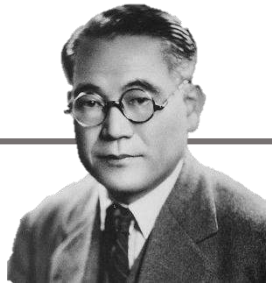
# 豊田佐吉・喜一郎

## ～世界のトヨタ生みの親～

## 時代背景

1900 年頃は、元号でいうと明治時代の中ごろ。日本が農業中心の国から工業中心の国に変わろうとしていた時代になる。ただ、自動車はまだ実験段階で、道路は路面電車や人力車が行き交っていた様子をイメージしてもらえばよい。そんな時代に発明家として活躍した人物が豊田佐吉。後に世界を代表するトヨタグループの基礎を作った人物である。そして、彼の息子である豊田喜一郎は現在の[1　　]を創業した人物。世界のトヨタを生んだ親子について、今回は紹介していく。

## 偉人の生涯



**豊田佐吉** 1867～1930　日　本　発明家・実業家

**豊田喜一郎** 1894～1952　日　本　経営者

| 西　暦 | 年齢 | 佐吉の生涯 |
|---|---|---|
| 1867 | 0 | 静岡県に生まれる。 |
| 1885 | 18 | 「[2　　]」が発布され、発明の奨励と保護を推進。→社会貢献できる発明を！ |
| 1891 | 24 | 母の手織機の効率を上げるために発明した、「豊田式木製人力織機」が完成。 |
| 1924 | 57 | 世界初の機能を搭載した、画期的な自動織機を発明。　“Magic Loom!” |
| 1926 | 59 | [3　　]製作所設立→現在の**豊田自動織機** |
| 1929 | 62 | 英プラット社に 100 万円で技術供与。<br>※当時初任給が 50 円の時代なので、今の感覚だと 3～4000 億くらい？ |
| 1930 | 63 | 死去 |

| 西　暦 | 年齢 | 喜一郎の生涯 |
|---|---|---|
| 1894 | 0 | 静岡県に生まれる。 |
| 1917 | 23 | [4　　](現東大)の機械工学科へ入学 |
| 1920 | 26 | 父が創業した豊田紡織へ入社。→ 後に、新しく設立された豊田自動織機の常務取締役就任 |
| 1933 | 39 | 豊田自動織機内に[5　　]を設立　→　後の**「トヨタ自動車」** |
| 1936 | 42 | 乗用車とトラックの生産開始 |
| 1941 | 47 | トヨタ自動車工場の社長に就任。 |
| 1952 | 57 | 死去 |

◀初の乗用車「トヨダ AA 型乗用車」

# 偉人の功績・思想

## ★豊田佐吉の教え　「言によらず、行動で示せ」

貧しい家に生まれた佐吉は、幼少期より「人の役に立つ」「社会に貢献する」という思いで生活していた。発明に至った経緯も、母の手織機を効率よくしてあげたい、という思いからであった。そんな彼が大切にした言葉が、「言によらず、行動で示せ」という一言。会社を立ち上げる立場になってからも、発明家として自分で製造することにこだわった。自分で作った会社を辞職させられた屈辱を受けた時も、すぐに切り替えて海外へ研究に出向いた。理屈を語らず、行動で示すということを貫いた実行力は、現在まで引き継がれており、トヨタの成功に繋がっている。

## ★豊田喜一郎の教え　「１日に１０回、手を洗え」

この言葉は、ある時トヨタの大卒社員に向けて言った言葉であるが、どんな思いが表現されているかわかるだろうか？彼が最も大切にしたのが[6　　]の声。理屈ばかり述べて現場に出向こうとしない大卒社員を見て、「そんな社員は役に立たない！」と叱りつけたという。つまり、つべこべ言う前に、現場を見なさい。現場に行って機械に触れて、手を汚し、１日 10 回は手を洗いなさい。ということである。

この「[7　　」（実物を見て触って理解を深め、素早い決断と実行をすることが、モノづくりの基本）という考えは、現在のトヨタグループの強さそのものである。数十万人の社員を抱える大企業にもかかわらず、社長と副社長がふらっと工場を訪れ、従業員の相談に乗る。常に現場に寄り添うことで、素早い決断や柔軟な変容を可能にできたのである。

## ★トヨタのこだわり　「クルマのすべてを自社設計」

佐吉の“自らの手で製作するこだわり”を引き継いだ喜一郎は、自動車産業においてもある目標を掲げる。それは設計や製作を外部メーカーに任せることなく、全て自社設計するオリジナル乗用車を作ること。そのために自動車部を立ち上げた際も、米国から購入した１台のシボレー製自動車を全て分解し、その全ての部品を原寸大でスケッチしたという。自らで部品の機能を頭に叩き込み、自動車工場の設立にまでこぎつけたのである。

その名残からか、部品メーカーとの緊密な連携を図るために、各部品を製造する関連企業を興した。東海飛行機（現：アイシン）、トヨタ車体工業（現：トヨタ車体）、日本電装（現：デンソー）などが主な例である。

**Topic　現在のトヨタグループ(13 社)はどんな企業だろうか(都道府県が書いていないものは愛知県)**

| 社　名 | 設立年 | 本　社 | 特　徴 |
|---|---|---|---|
| **豊田自動織機** | 1926 | | 佐吉が創業した、トヨタグループの本家・源流 |
| **トヨタ自動車** | 1937 | 豊田市 | 喜一郎を中心に、自動織機内に開設された自動車部が起源 |
| ㈱[　　] | 2006 | 刈谷市 | 工作機械、自動車部品の製造・販売 |
| [　　]㈱ | 1945 | | ミニバン・SUV・福祉車両などの製造 |
| **豊田通商㈱** | 1948 | 名古屋市 | 各種物品の国内・輸出入・外国間取引 |
| ㈱[　　] | 1949 | | 自動車部品、エネルギー・住生活関連製品の製造・販売 |
| ㈱[　　] | 1949 | | 自動車電装用品、空調設備、電気機械器具の製造・販売 |
| **トヨタ紡織㈱** | 1950 | 刈谷市 | 自動車用内装・フィルター・繊維製品などの製造・販売 |
| **トヨタ不動産㈱** | 1953 | 名古屋市・東京都 | 不動産の所有・管理・売買・賃借など |
| ■その他の企業　**㈱豊田中央研究所**（1960：長久手市）　**豊田合成㈱**（1949：清須市）<br>**トヨタ自動車東日本㈱**（1946：宮城県）　**愛知製鋼㈱**（1940：：東海市） | | | |

## Work 🖊　トヨタが日本経済に与える影響を考える

**STEP 1　日本企業の時価総額ランキングを調査（時価総額とは、発行株数×価格で示し、会社の規模を表す）**

**※2025 年 2 月現在**

| 順位 | 企業名 | 時価総額 | 特　徴 |
|---|---|---|---|
| 1 | | | 自動車産業の最大手企業 |
| 2 | | | 金融系企業の最大手 |
| 3 | | | イメージセンサー・ゲーム・音楽・映画分野に重点 |
| 4 | | | 総合電機最大手・重電、インフラ重視 |
| 5 | | | 求人情報検索、販促・人材メディア・人材派遣 |

**STEP 2　自動車国内シェアランキングを予想（2022）**

| 順位 | 企業名 | 売上額 |
|---|---|---|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

**STEP 3　愛知県に与える影響（データは 2022 年度）**

多くのトヨタ関連企業が愛知県内に集中しており、
愛知県の製造品出荷額は 2022 年で[　　]年連続日本一を
記録し、「製造の愛知」をトヨタ関連企業が牽引している。

市町村別の出荷額を比較しても、1 位[　　]市(14.7 兆)、2 位名古屋市(2.9 兆)、3 位[　　]市(1.9 兆)、4 位[　　]市(1.8 兆)、5 位[　　]市(1.5 兆)となっており、トヨタ関連の本社や工場が三河地区を中心に固まっていることがわかる。万が一、トヨタグループが倒れた場合、75%の部品を生産している下請け企業に多大な影響を与えることとなる。1 次請けが約 500 社、2 次請けで 5000 社、3 次以下の下請けで約 3 万社の取引先があると言われており、国内工場が閉鎖となった場合には数十億円の損失が生じるだけでなく、500 万人以上の生活が困窮すると推測される。

また、トヨタ関連企業が集中する地域では、[　　]の収入が激減し、自治体としての機能を失うことにもなりかねない。実際に 2008 年のリーマンショックにより 4610 億円の赤字を出した際には、田原市の法人税収が 9 割減少した。自動車業界の国内規模は 63 兆円(2022 年)で、その半数がトヨタ。もしトヨタが崩壊した場合、少なく見積もっても日本の GDP は 20 兆円（約 4 %）縮小することになると言われている。

## column　トヨタ自動車とモータースポーツ

### ■　モータースポーツを通じた「クルマづくり」

トヨタのモータースポーツへの参加の歴史は古く、今から約 70 年前、クラウンでオーストラリアを 1 周する競技に参加しました。当時、何度もこわれたり、止まったりした経験が、今のトヨタの「もっといいクルマづくり」のもとになりました。

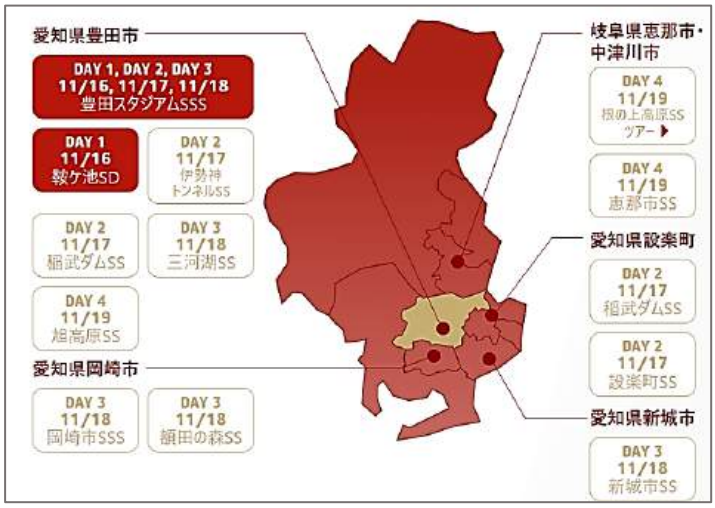
モータースポーツには、レースやラリーなど、たくさんの種類の競技があります。砂漠やデコボコ道を走ったり、速いスピードで長時間走り続けるなど、私たちが、日頃街中を走っている時より、ずっと厳しい状況で行われます。そこで失敗したことに「何がダメだったのか」「どうすればもっと速く走れるのか」を考えることで、クルマやクルマづくりに関わる人が鍛えられ、進化します。それが将来の「もっといいクルマづくり」につながるからこそ、トヨタはモータースポーツ活動を続けています。

トヨタ自動車会長豊田章男は現役ドライバーとしてステアリングを握り、自分自身のクルマづくりに対するセンサーを磨いて「もっといいクルマをつくりたい」という想いを胸に抱き続けている。現場を重視するトヨタ自動車らしいエピソードといえます。

### ■　実際に見に行ってみよう！！

みんなが通る一般道を競技車両が猛スピードで走ったり、メカニックがクルマを修理する様子を近くで見ることができるラリー競技。そのラリーの最高峰である WRC（世界ラリー選手権）最終戦が、2022 年秋に、日本(愛知・岐阜)で開催された。公道を時速 150km～200km で駆け抜ける車両は圧巻。またクルマがぶつかってしまったり、壊れてしまうことがあった時、メカニックたちが限られた時間や設備で修理し、レースに復帰させる。この技術のぶつかり合いも、モータースポーツの見どころの一つです。

『どうやって直すのか』、『1 秒でも早く直すには』、といったことを考え、技術力を磨くことで、クルマをつくる人が育ち、クルマをつくる人が成長し、市販車の開発にいかすことで、「もっといいクルマ」をつくることができるのです。また、まちでよく見かけるクルマを少し改造して手軽に参加できる TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジは、日本全国で盛り上がっている。興味が湧いたら、是非見に行ってみてください！




↑2022 年　WRC 開催地

偉人列伝　　3年[　]組[　]番　名前[　　]

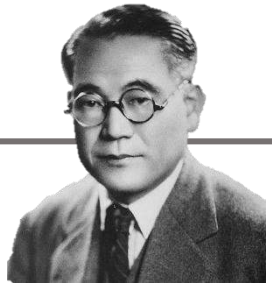
# 豊田佐吉・喜一郎

## ～世界のトヨタ生みの親～

## 時代背景

1900 年頃は、元号でいうと明治時代の中ごろ。日本が農業中心の国から工業中心の国に変わろうとしていた時代になる。ただ、自動車はまだ実験段階で、道路は路面電車や人力車が行き交っていた様子をイメージしてもらえばよい。そんな時代に発明家として活躍した人物が豊田佐吉。後に世界を代表するトヨタグループの基礎を作った人物である。そして、彼の息子である豊田喜一郎は現在の[1　**トヨタ自動車**　]を創業した人物。世界のトヨタを生んだ親子について、今回は紹介していく。

## 偉人の生涯



**豊田佐吉** 1867～1930　日　本　発明家・実業家

**豊田喜一郎** 1894～1952　日　本　経営者

| 西　暦 | 年齢 | 佐吉の生涯 |
|---|---|---|
| 1867 | 0 | 静岡県に生まれる。 |
| 1885 | 18 | 「[2　**専売特許条例**　]」が発布され、発明の奨励と保護を推進。→社会貢献できる発明を！ |
| 1891 | 24 | 母の手織機の効率を上げるために発明した、「豊田式木製人力織機」が完成。 |
| 1924 | 57 | 世界初の機能を搭載した、画期的な自動織機を発明。　“Magic Loom!” |
| 1926 | 59 | [3　**豊田自動織機**　]製作所設立→現在の**豊田自動織機** |
| 1929 | 62 | 英プラット社に 100 万円で技術供与。<br>※当時初任給が 50 円の時代なので、今の感覚だと 3～4000 億くらい？ |
| 1930 | 63 | 死去 |

| 西　暦 | 年齢 | 喜一郎の生涯 |
|---|---|---|
| 1894 | 0 | 静岡県に生まれる。 |
| 1917 | 23 | [4　**東京帝国大学**　](現東大)の機械工学科へ入学 |
| 1920 | 26 | 父が創業した豊田紡織へ入社。→ 後に、新しく設立された豊田自動織機の常務取締役就任 |
| 1933 | 39 | 豊田自動織機内に[5　**自動車部**　]を設立　→　後の**「トヨタ自動車」** |
| 1936 | 42 | 乗用車とトラックの生産開始 |
| 1941 | 47 | トヨタ自動車工場の社長に就任。 |
| 1952 | 57 | 死去 |

◀初の乗用車「トヨダ AA 型乗用車」

# 偉人の功績・思想

## ★豊田佐吉の教え　「言によらず、行動で示せ」

貧しい家に生まれた佐吉は、幼少期より「人の役に立つ」「社会に貢献する」という思いで生活していた。発明に至った経緯も、母の手織機を効率よくしてあげたい、という思いからであった。そんな彼が大切にした言葉が、「言によらず、行動で示せ」という一言。会社を立ち上げる立場になってからも、発明家として自分で製造することにこだわった。自分で作った会社を辞職させられた屈辱を受けた時も、すぐに切り替えて海外へ研究に出向いた。理屈を語らず、行動で示すということを貫いた実行力は、現在まで引き継がれており、トヨタの成功に繋がっている。

## ★豊田喜一郎の教え　「１日に１０回、手を洗え」

この言葉は、ある時トヨタの大卒社員に向けて言った言葉であるが、どんな思いが表現されているかわかるだろうか？彼が最も大切にしたのが[6　**現場**　]の声。理屈ばかり述べて現場に出向こうとしない大卒社員を見て、「そんな社員は役に立たない！」と叱りつけたという。つまり、つべこべ言う前に、現場を見なさい。現場に行って機械に触れて、手を汚し、１日 10 回は手を洗いなさい。ということである。

この「[7　**現場主義**　」(実物を見て触って理解を深め、素早い決断と実行をすることが、モノづくりの基本)という考えは、現在のトヨタグループの強さそのものである。数十万人の社員を抱える大企業にもかかわらず、社長と副社長がふらっと工場を訪れ、従業員の相談に乗る。常に現場に寄り添うことで、素早い決断や柔軟な変容を可能にできたのである。

## ★トヨタのこだわり　「クルマのすべてを自社設計」

佐吉の“自らの手で製作するこだわり”を引き継いだ喜一郎は、自動車産業においてもある目標を掲げる。それは設計や製作を外部メーカーに任せることなく、全て自社設計するオリジナル乗用車を作ること。そのために自動車部を立ち上げた際も、米国から購入した１台のシボレー製自動車を全て分解し、その全ての部品を原寸大でスケッチしたという。自らで部品の機能を頭に叩き込み、自動車工場の設立にまでこぎつけたのである。

その名残からか、部品メーカーとの緊密な連携を図るために、各部品を製造する関連企業を興した。東海飛行機（現：アイシン)、トヨタ車体工業（現：トヨタ車体)、日本電装（現：デンソー）などが主な例である。

**Topic　現在のトヨタグループ(13 社)はどんな企業だろうか(都道府県が書いていないものは愛知県)**

| 社　名 | 設立年 | 本　社 | 特　徴 |
|---|---|---|---|
| 豊田自動織機 | 1926 | 刈谷市 | 佐吉が創業した、トヨタグループの本家・源流 |
| トヨタ自動車 | 1937 | 豊田市 | 喜一郎を中心に、自動織機内に開設された自動車部が起源 |
| ㈱[　ジェイテクト　] | 2006 | 刈谷市 | 工作機械、自動車部品の製造・販売 |
| [　トヨタ車体　]㈱ | 1945 | 刈谷市 | ミニバン・SUV・福祉車両などの製造 |
| 豊田通商㈱ | 1948 | 名古屋市 | 各種物品の国内・輸出入・外国間取引 |
| ㈱[　アイシン　] | 1949 | 刈谷市 | 自動車部品、エネルギー・住生活関連製品の製造・販売 |
| ㈱[　デンソー　] | 1949 | 刈谷市 | 自動車電装用品、空調設備、電気機械器具の製造・販売 |
| トヨタ紡織㈱ | 1950 | 刈谷市 | 自動車用内装・フィルター・繊維製品などの製造・販売 |
| トヨタ不動産㈱ | 1953 | 名古屋市・東京都 | 不動産の所有・管理・売買・賃借など |
| ■その他の企業　㈱豊田中央研究所（1960：長久手市）　豊田合成㈱（1949：清須市）<br>トヨタ自動車東日本㈱（1946：宮城県）　愛知製鋼㈱（1940：：東海市） | | | |

## Work　トヨタが日本経済に与える影響を考える

### STEP 1　日本企業の時価総額ランキングを調査（時価総額とは、発行株数×価格で示し、会社の規模を表す）

※2025 年 2 月現在

| 順位 | 企業名 | 時価総額 | 特　徴 |
|---|---|---|---|
| 1 | **トヨタ自動車** | **42 兆円** | 自動車産業の最大手企業 |
| 2 | **三菱 UFJ** | **23 兆円** | 金融系企業の最大手 |
| 3 | **ソニーグループ** | **23 兆円** | イメージセンサー・ゲーム・音楽・映画分野に重点 |
| 4 | **日立製作所** | **17 兆円** | 総合電機最大手・重電、インフラ重視 |
| 5 | **リクルート HD** | **16 兆円** | 求人情報検索、販促・人材メディア・人材派遣 |

### STEP 2　自動車国内シェアランキングを予想（2022）

| 順位 | 企業名 | 売上額 |
|---|---|---|
| 1 | **トヨタ自動車** | **31 兆円** |
| 2 | **ホンダ** | **9 兆円** |
| 3 | **日産** | **8 兆円** |
| 4 | **スズキ** | **3 兆円** |
| 5 | **スバル** | **2 兆円** |

### STEP 3　愛知県に与える影響（データは 2022 年度）

多くのトヨタ関連企業が愛知県内に集中しており、
愛知県の製造品出荷額は 2022 年で[ **45** ]年連続日本一を
記録し、「製造の愛知」をトヨタ関連企業が牽引している。

市町村別の出荷額を比較しても、1 位[　**豊田**　]市(14.7 兆)、2 位名古屋市(2.9 兆)、3 位[　**安城**　]市(1.9 兆)、4 位[　**岡崎**　]市(1.8 兆)、5 位[　**刈谷**　]市(1.5 兆)となっており、トヨタ関連の本社や工場が三河地区を中心に固まっていることがわかる。万が一、トヨタグループが倒れた場合、75%の部品を生産している下請け企業に多大な影響を与えることとなる。1 次請けが約 500 社、2 次請けで 5000 社、3 次以下の下請けで約 3 万社の取引先があると言われており、国内工場が閉鎖となった場合には数十億円の損失が生じるだけでなく、500 万人以上の生活が困窮すると推測される。

また、トヨタ関連企業が集中する地域では、[　**法人税**　]の収入が激減し、自治体としての機能を失うことにもなりかねない。実際に 2008 年のリーマンショックにより 4610 億円の赤字を出した際には、田原市の法人税収が 9 割減少した。自動車業界の国内規模は 63 兆円(2022 年)で、その半数がトヨタ。もしトヨタが崩壊した場合、少なく見積もっても日本の GDP は 20 兆円（約 4 %）縮小することになると言われている。

## column　トヨタ自動車とモータースポーツ

### ■　モータースポーツを通じた「クルマづくり」

トヨタのモータースポーツへの参加の歴史は古く、今から約 70 年前、クラウンでオーストラリアを 1 周する競技に参加しました。当時、何度もこわれたり、止まったりした経験が、今のトヨタの「もっといいクルマづくり」のもとになりました。

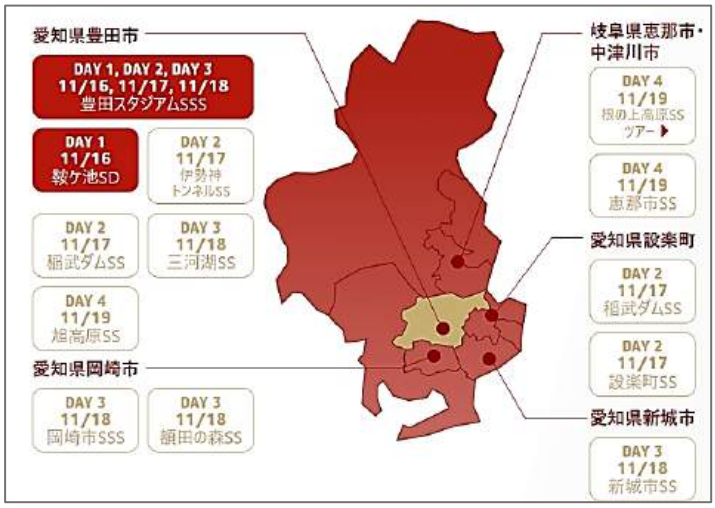
モータースポーツには、レースやラリーなど、たくさんの種類の競技があります。砂漠やデコボコ道を走ったり、速いスピードで長時間走り続けるなど、私たちが、日頃街中を走っている時より、ずっと厳しい状況で行われます。そこで失敗したことに「何がダメだったのか」「どうすればもっと速く走れるのか」を考えることで、クルマやクルマづくりに関わる人が鍛えられ、進化します。それが将来の「もっといいクルマづくり」につながるからこそ、トヨタはモータースポーツ活動を続けています。

トヨタ自動車会長豊田章男は現役ドライバーとしてステアリングを握り、自分自身のクルマづくりに対するセンサーを磨いて「もっといいクルマをつくりたい」という想いを胸に抱き続けている。現場を重視するトヨタ自動車らしいエピソードといえます。

### ■　実際に見に行ってみよう！！

みんなが通る一般道を競技車両が猛スピードで走ったり、メカニックがクルマを修理する様子を近くで見ることができるラリー競技。そのラリーの最高峰である WRC（世界ラリー選手権）最終戦が、2022 年秋に、日本(愛知・岐阜)で開催された。公道を時速 150km～200km で駆け抜ける車両は圧巻。またクルマがぶつかってしまったり、壊れてしまうことがあった時、メカニックたちが限られた時間や設備で修理し、レースに復帰させる。この技術のぶつかり合いも、モータースポーツの見どころの一つです。

『どうやって直すのか』、『1 秒でも早く直すには』、といったことを考え、技術力を磨くことで、クルマをつくる人が育ち、クルマをつくる人が成長し、市販車の開発にいかすことで、「もっといいクルマ」をつくることができるのです。また、まちでよく見かけるクルマを少し改造して手軽に参加できる TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジは、日本全国で盛り上がっている。興味が湧いたら、是非見に行ってみてください！




↑2022 年　WRC 開催地